

2025年3月13日

各位

JFEシステムズ株式会社



JFEスチール 西日本製鉄所（倉敷地区）大規模一貫製鉄所基幹システム オープン環境へ完全移行

JFEシステムズ株式会社（東証スタンダード市場 4832、本社：東京都港区、代表取締役社長：大木 哲夫、以下 当社）は、JFEスチール株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：広瀬 政之、以下 JFEスチール）西日本製鉄所（倉敷地区）基幹システムをメインフレーム（富士通株式会社製）からオープン環境に完全移行したことをお知らせします。

当社は、本プロジェクトをJFEスチールより受注・開発推進し、アクセント株式会社にパートナーとして参画いただき、3社が緊密に連携することで、プロジェクトを完遂しました。

JFEスチールは、各製鉄所・製造所の基幹システム刷新「製鉄所システムリフレッシュ」を各地区並行して推進しており、既に仙台製造所はオープン化を完了しました。

倉敷地区は、5,000万STEP以上もの大規模システムを段階的に移行してきました。2024年9月の「薄板品種」・「電磁鋼板品種」・「全品種出荷」領域に続き、本年2月に「製鋼」・「棒線」領域をオープン環境へ移行、53カ月の短工期で倉敷地区基幹システム刷新を完了しました。なお、これにより全製鉄所・製造所基幹システムの6割のオープン化を完了しています。

引き続き2025年度末完了を目指し、製鉄所システムリフレッシュを推進します。

JFEスチールは、製鉄所システムリフレッシュによるIT構造改革の断行に加え、データサイエンス・AIなどを積極的に活用するDXを推進しています。

2024年9月には、IT領域に蓄積した生産実績・製品品質データ等とOT（Operational Technology）領域のセンサーデータ等の操業データの統合、およびCPS（Cyber Physical System）の開発・実行をクラウド領域で一元的に実行するプラットフォーム「J-DNexus™」を当社と構築、運用を開始されました。

当社は、J-DNexus™に採用されたデータ統合プラットフォーム「Cognite Data Fusion®」の日本国内におけるリセラー契約を締結、製造業のお客様向けに販売を開始しています。

当社は、今後も大規模開発、およびデータ活用レベル高度化のノウハウを蓄積しながら、JFEスチールおよび製造業のお客様のDX推進に貢献してまいります。

【倉敷地区システムリフレッシュ概要】

着工：2020年10月

完工：2025年2月

従来システム：プログラミング言語 COBOL、システム規模 5,000万STEP以上

新システム：プログラミング言語 Java

【関連 URL】

- ・ J F E システムズ、Cognite 社とリセラー契約を締結

CPS 環境の構築を通じて製造業の DX 推進を支援

(2024年9月12日当社プレスリリース)

https://www.jfe-systems.com/press/2024/20240912_release.html

- ・ 製造業向け DataOps プラットフォーム「Cognite Data Fusion®」

https://www.jfe-systems.com/products/cognite/cognite_data_fusion.html

【J F E システムズ株式会社について】 <https://www.jfe-systems.com/>

鉄鋼業界におけるシステム構築・運用で培った企画・構想力と技術力を活かし、多彩なサービスをお客様に提供しています。製造業をはじめ、あらゆる分野のお客様に向けて、システムインテグレーション、アウトソーシング、コンサルティング、独自のパッケージ製品および、ERP を中核に様々な製品を組み合わせた複合ソリューションの提供など、幅広いビジネスを展開しています。

- ・ 本プレスリリースに記載の会社名、製品名・サービス名は各社の商標または登録商標です。

◆ プレスリリース・取材に関するお問い合わせ

J F E システムズ株式会社 総務部 広報グループ

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目2番3号 シーバンス S 館 (受付 18 階)

TEL: 03-5418-2406

- ・ ニュースリリース・取材に関するお問い合わせフォーム

https://f.jfe-systems.com/webapp/form/14482_alv_113/index.do